

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	心豊かな人間を育成し、生徒の夢を実現する学校
--------	------------------------

重点目標	1 学習意欲と基礎学力の向上を図る。 2 基本的生活習慣の確立を図る。 3 自己の適性を知り、希望進路を実現する。 4 地域社会に開かれた学校づくりに努める。
------	------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 5 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 授業規律が保たれており、生徒が安心して学習する環境が整っている。 【課題】 基礎学力の差が大きく、学習に対して苦手意識をもつ生徒も多い。	学習意欲の向上	①研究授業・研究協議を行うことで、各教職員が本校の生徒の実態に応じた指導方法を研究する。(教務部) ②夏季休業と冬季休業において、生徒に基礎学力向上のための課題を課し、あわせて実力テストを実施する。生徒の学習機会を増加させるとともにテスト結果を教職員で共有する。(教務部)	3学期(1月)生徒アンケートで「本校の授業の内容がよくわかっている」が1学期(7月)より上昇したか。		
		基礎学力の向上		3学期(1月)生徒アンケートで「本校の授業を通じて、学習に対する意欲が向上している」が1学期(7月)より上昇したか。		
2	【現状】 基本的生活習慣が乱れている生徒や社会のルールを遵守できない生徒がいる。 【課題】 担任を中心とした学校と家庭の密な連携による指導の充実。	基本的生活習慣の具体的な把握及び確立を図る取組	①学校生活のあらゆる場面で積極的に「声かけ」・「挨拶」を継続すると共に、生徒の生活状況について調査・把握を行う。 ②遅刻者の傾向を分析した上で、欠席・遅刻を未然防止できる取り組みを実施する。	①生徒アンケートにより生徒の挨拶に対する意識が向上し、挨拶が増加したか。 生徒の平均的な生活状況を把握できたか。 ②欠席・遅刻での指導生徒が減少したか。		
		5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を意識した規範意識の醸成	①5S活動(特に整理・躰)を心がけることで、より充実した学校環境をつくる。 ②巡回指導の強化・校門指導の実施及び家庭との連携により、問題行動を防止する。	①5S活動を理解し、自ら取り組む意識が醸成されたか。 ②生徒指導案件の数は減少したか。		
3	【現状】 自分の適性がわからず、進路の目標を見出せずにいる生徒が多い。 【課題】 生徒の発達段階と適性に合った進路目標の設定と実現。	発達段階と適性に合った進路目標の設定	①定期的な進路アンケートの実施を通じて、「卒業後の進路」が「わからない」の生徒が25%以下を目指して、県事業を活用した進路指導を実施する。 ②全年次での進路ガイダンスを通じて、積極的な情報提供を行う。	①進路アンケートにより年次ごとに、自分の適性、能力を把握できたか。 ②就職での業種区分及び進学での専攻分野を理解できたか。		
		進路決定率100%の継続	①社会人基礎力(特に発信力・傾聴力・柔軟性)を身につけさせる機会(LHR等)の充実を図る。 ②進路実現に向けて就職者・進学者を対象とした計画的な補習等の指導を実施する。	①課題研究・授業・LHRを含め、社会人基礎力を育成する機会を複数回設けられたか。 ②進路決定率100%が実現できたか。		
4	【現状】 情報発信を継続することで、地域との連携が育ちつつある。 【課題】 学校からの情報発信の内容や方法を再検討することで、地域への情報発信をさらに効果的なものにする必要がある。	積極的な学校情報の発信	①各分掌が連携して、HPの更新を定期的に行う。新たに授業風景を掲載するなど普段の学校生活についての情報発信も行う。 ②教務部と年次が連携して、1年次生徒による母校訪問を継続して実施する。	①HPでの情報発信の回数が昨年度を上回ったか。(R1年度38回) ②母校訪問に、5名以上の生徒が参加したか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和2年2月26日
学校関係者からの意見・要望・評価等	